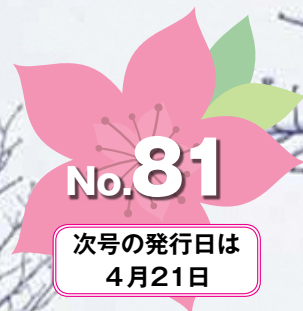




さわやか ジャーナル



新体制でスタートしました

12月定例会 ハイライト

70号・82号
補正予算

可決

議案

64号

公文書管理に関する条例の制定……

可決

◀ P3・6

65号

中学校の部活動地域展開推進協議会設置条例……

可決

◀ P3・6

67号

市が設置している委員会・協議会の附属機関としての位置づけを行う条例改正……

可決

◀ P3・5

87号

教育委員会教育長の任命につき、同意を求める……

同意

◀ P3

学校給食センター都市ガス化事業……

4,020万

◀ P3

災害時避難所となる中学校体育館にエアコン……

17,900万

◀ P3

湖南中央消防署建替事業…用地取得費等……

14,570万

◀ P3・7

代表質問 3会派

所信表明の3つのビジョンと12のゴールについて
会派 きずな
森 淳
◀ P7

所信表明の3つのビジョン及び国政、県政に対する態度について
日本共産党湖南市議員団
松井 圭子
◀ P8

所信表明について
湖南市公明党議員団
細川 ゆかり
◀ P8

一般質問
★詳細は指定ページに
報告があります。

美しい湖南市きれいな街づくりについて
防災について
公共交通について
市長の就任会見について
小林 義典
◀ P9

ギガスクールについて
市内の公園について(湖南市公園等ストック再編基本計画より)
「こども誰でも通園制度(仮称)」について
副田 悦子
◀ P9

コミュニティバスの運行について
永田 誠治
◀ P10

公共交通のあり方について
水害予防について
障がい者等移動支援事業について
立入 善治
◀ P10

湖南市の図書館について
孤独・孤立対策の進捗状況について
赤祖父 裕美
◀ P11

選挙の振り返り
甲西図書館のリニューアルについて
企業誘致について
澤田 厚
◀ P11

通過車両の生活道路への流入対策について
甲西図書館のリニューアルについて
奥村 幹郎
◀ P12

自然災害について
雑草処理について
望月 卓
◀ P12

まちづくりについて
土地利用の推進について
堀田 繁樹
◀ P13

カーブミラーについて
GIGAスクール構想について
川波 忠臣
◀ P13

工場をまちにひらくことによる効果について
多様な人が参画できる協働のまちについて
中土 翔太
◀ P14

持続可能な消防団組織・活動について
防犯対策について
曾我部 一帆
◀ P14

今後の市政運営について
問う
加藤 貞一郎
◀ P15

水道の耐震化について
甲西中学校・夜間学級について
松原 栄樹
◀ P15

議長コラム

議長 上野 顕介



令和7年新年を迎えて

あけましておめでとうございます。昨年は市議会にとつて激動の年でした。新市長と4人の市議会議員が同時に信任を得ましたし、前市長と前市議の訃報に接する悲しみもありました。どのような事態であっても日々の市政は停滞できません。信任された新体制で本年も市の課題と向き合っておりますが、一例をあげますと、昨年の市議会定例会において一般質問で取り上げられたように公共交通や水道事業は全国的な課題であり、全国市長会の発行する冊子「市政」においても様々な首長や有識者の意見実施策が取り上げられています。

公共交通においては、いわゆる団塊の世代が車を運転しにくくなってくる年齢にさしかかっていることと合わせて既存の交通事業者が勤労世代を中心とした人口減少社会において事業継続が難しくなっていることが背景にあります。水道事業は、そもそも多額の投資事業であり、維持費を水道料金でまかなっているところ、加えて老朽配管や耐震という課題への対応が必要であり、水道料金の値上げが避けられないという有識者の意見が多くみられます。

両課題とも広域化で対応するといった有識者の論調が多いのですが、そこに加えて世代間の負担率も考えなくてはならないでしょう。箱もの行政ではよく言われますが、老朽化等を次世代に丸投げせずに現世代においても負担するということ意見です。事業実施をいつするかという問いかけでもあります。本年も引き続き市議会においても議論を深めたいと思います。

12月議会定例会 議決結果

分類	議案名等	結果
条例	議案第68号 湖南省行政財産使用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について 行政財産の使用を許可した場合において、使用者から徴収する使用料及びその徴収等に関し、必要な事項について所要の改正を行うもの。	○
	議案第69号 湖南省火葬場条例の一部を改正する条例の制定について 霊安室利用の適正化を図るため、火葬場使用料について、所要の改正を行うもの。	○
	議案第81号 湖南省職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について 人事院勧告に基づき国家公務員の給与改定等に準じて、職員の給与改定を行うため、所要の改正を行うもの。	○
補正予算	議案第70号 令和6年度湖南省一般会計補正予算(第5号) 【歳入歳出】それぞれ7億7,640万8千円を追加 【補正後の額】268億2,579万円	○
	議案第71号 令和6年度湖南省国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 【歳入歳出】それぞれ4億7,059万5千円を追加 【補正後の額】56億8,725万8千円	○
	議案第72号 令和6年度湖南省国民健康保険診療所特別会計補正予算(第4号) 【歳入歳出】それぞれ5,465万円を追加 【補正後の額】5億2,715万8千円	○
	議案第73号 令和6年度湖南省後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 【歳入歳出】それぞれ113万1千円を追加 【補正後の額】12億9,866万8千円	○
	議案第74号 令和6年度湖南省介護保険特別会計補正予算(第2号) 【歳入歳出】それぞれ212万4千円を減額 【補正後の額】41億5,116万6千円	○
	議案第82号 令和6年度湖南省一般会計補正予算(第6号) 【歳入歳出】それぞれ2億9,867万6千円を追加 【補正後の額】271億2,446万6千円	○
	議案第83号 令和6年度湖南省国民健康保険特別会計補正予算(第3号) 【歳入歳出】それぞれ171万8千円を追加 【補正後の額】56億8,897万6千円	○

分類	議案名等	結果
承認	承認第3号 専決処分の承認を求めることについて(専決第3号令和6年度湖南省一般会計補正予算(第4号)) 令和6年10月1日に地方自治法第179条第1項の規定により専決処分した令和6年度湖南省一般会計補正予算(第4号)について報告し、承認を求める。 【歳入歳出】それぞれ3,747万5千円を追加 【補正後の額】260億4,938万2千円	○
	承認第4号 専決処分の承認を求めることについて(専決第4号令和6年度湖南省国民健康保険診療所特別会計補正予算(第3号)) 令和6年10月30日に地方自治法第179条第1項の規定により専決処分した令和6年度湖南省国民健康保険診療所特別会計補正予算(第3号)について報告し、承認を求める。 【歳入歳出】それぞれ1,566万4千円を追加 【補正後の額】4億7,250万8千円	○
条例	議案第64号 湖南省公文書の管理に関する条例の制定について 市が保有する公文書の管理に関する基本的事項を定めることにより、公文書の適正な管理および保存を推進し、市の諸活動を現在および将来の市民に説明する責務を全うすることを目的として、条例を制定するもの。	○
	議案第65号 湖南省立中学校の部活動地域展開推進協議会設置条例の制定について 部活動の地域展開に係る仕組みづくりや地域スポーツ・文化活動の運営方法等について検討するため、湖南省立中学校の部活動地域展開推進協議会を設置する条例を制定するもの。	○
	議案第66号 湖南省個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例等の一部を改正する条例の制定について 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴い、法律の規定を引用する条例について所要の改正を行うもの。	○
	議案第67号 湖南省附属機関設置条例及び湖南省特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について 市が設置している委員会、協議会その他の組織について、地方自治法第138条の4の規定に基づき市の附属機関として条例への位置づけを行うため、関係する2条例について、所要の改正を行うもの。	○

分類	議案名等	結果
その他	議案第78号 市道路線の認定について 認定路線 6路線	◎
	議案第79号 市道路線の変更について 変更路線 1路線	◎
	議案第80号 甲賀広域行政組合の規約変更について 地方自治法(昭和22年法律第67号)第286条第1項の規定により、甲賀広域行政組合規約の一部を変更することを協議することについて、地方自治法第290条の規定により議会の議決を求めるもの。	◎
	案第87号 教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、教育長の任命について議会の同意を求めるもの。	◎
	意見書第3号 北方領土問題の早期解決等を求める意見書	◎
報告	報告第8号 委任専決処分事項の報告について (委任専決第3号湖南省立甲西北中学校管理瑕疵による物損事故に関する損害賠償額)	◎

※◎全会一致で原案可決・採択
○賛成多数で原案可決
×反対多数で否決

分類	議案名等	結果
補正予算	議案第84号 令和6年度湖南省国民健康保険診療所特別会計補正予算(第5号) 【歳入歳出】それぞれ686万9千円を追加 【補正後の額】5億3,402万7千円	◎
	議案第85号 令和6年度湖南省介護保険特別会計補正予算(第3号) 【歳入歳出】それぞれ385万8千円を追加 【補正後の額】41億5,502万4千円	◎
	議案第86号 令和6年度湖南省下水道事業会計補正予算(第1号) 【収益的支出】101万3千円追加 【補正後の額】16億5,938万1千円	◎
	議案第75号 指定管理者の指定について 湖南省東海道石部宿関連施設(湖南省こころの街角サロンいしべ宿駅、湖南省石部宿田楽茶屋)を令和7年4月1日から令和10年3月31日までの期間、チームアキコを指定管理者として指定することについて、議会の議決を求めるもの。	◎
その他	議案第76号 財産の無償譲渡について 旧岩根会館の建物を地元区である岩根東口区に無償譲渡することについて、議会の議決を求めるもの。	◎
	議案第77号 旧慣使用权の廃止について 湖南省夏見822番、828番の一部の土地について、民間事業者に売却するため、地方自治法第238条の6の規定により旧慣使用权を廃止するにあたり、議会の議決を求めるもの。	◎

令和6年12月湖南省議会定例会 提出案件(賛否)

○：賛成 ●：反対

議案番号	件名	会派さずな						日本共産党湖南市議員団		湖南市公明党議員団		無会派						
		森 淳	望 月 卓	堀 田 繁 樹	奥 村 幹 郎	中 土 翔 太	永 田 誠 治	松 井 圭 子	立 入 善 治	川 波 忠 臣	細 川 ゆかり	副 田 悦 子	赤 祖 父 裕 美	松 原 栄 樹	加 藤 貞 一 郎	小 林 義 典	澤 田 厚	曾 我 部 一 帆
議案第66号	湖南市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は裁決に加わりません。

湖南省議会構成表

議 長	上 野 顕 介
副 議 長	森 淳

常任委員会名	定数	委員長	副委員長	委 員				
総 務 常 任 委 員 会	6	永田	加藤	望月	松井	小林		
福祉教育常任委員会	6	副田	松原	森	川波	澤田	曾我部	
産業経済常任委員会	6	中土	細川	赤祖父	立入	堀田	奥村	
予 算 常 任 委 員 会	9	細川	奥村	森	加藤	立入	堀田	川波
決 算 常 任 委 員 会	8	松井	赤祖父	望月	松原	中土	小林	永田

委員会名	定数	委員長	副委員長	委 員				
議 会 運 営 委 員 会	8	望月	細川	森	松井	堀田	奥村	中土

委員会名	定数	委員長	副委員長	委 員			
議会改革推進特別委員会	6	森	副田	堀田	奥村	永田	川波
庁舎整備検討特別委員会	6	堀田	細川	森	望月	松原	松井

委員会名	定数	委員長	副委員長	委 員		
議 会 広 報 委 員 会	10名以内	奥村	永田	中土	副田	川波

太文字は12月定例会にて変更になりました。

意見書第3号

北方領土問題の早期解決等を求める意見書

我が国固有の領土である北方領土返還の実現は、永年の国民の悲願である。

滋賀県においては、昭和57年に北方領土返還要求運動滋賀県民会議が設立され、県・県議会、市町・市町議会、民間団体など158団体が会員となって返還要求運動を展開してきたところである。

さて、北方領土とその海域をロシアに不法占拠されてから既に79年もの歳月が過ぎ、これまで返還要求運動の中心的役割を担ってきた元島民の多くが故郷に戻るとの願いが叶わず他界され、さらに、ウクライナを巡る国際情勢の影響により日口間の平和条約締結交渉が中断され、ビザなし交流や自由訪問の合意もロシア政府から一方的に停止されるなど、このままでは返還要求運動の停滞や風化も懸念されるところである。

また、北方領土隣接地域においては、北方領土問題が未解決であることにより自由な社会経済活動に多くの制約を受け続け、漁業をはじめとした地域の産業・経済に甚大な影響を及ぼしている。

このような現状を踏まえ、北方領土問題の早期解決のため、外交交渉を支える国民運動としての返還要求運動をより一層推進するとともに、青少年に対する北方領土教育の充実、北方四島への想いを引き継いでいくための運動後継者の育成強化、さらには北方領土返還要求の正当性を国内外に積極的に訴える必要がある。

については、北方領土問題の早期解決と隣接地域の振興を図るため、下記の事項について強く要望する。

記

- 1 北方領土問題の解決に向けた断固たる決意と強い意志を持って、ロシアとの外交交渉を粘り強く推し進めるとともに、国内外の世論の喚起高揚に向けた効果的な返還要求運動を推進すること。
- 2 北方墓参をはじめ、北方四島交流事業（ビザなし交流事業）及び自由訪問事業については、特段に早期の再開を目指し、外交交渉を推進すること。
- 3 学校教育及び社会教育における北方領土問題に関する教育の充実と強化を図ること。
- 4 元島民等に対する援護対策の充実や、社会経済活動に多くの制約を受けている北方領土隣接地域の疲弊解消のための措置の充実を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年12月13日

提出先

内閣総理大臣、外務大臣、文部科学大臣、内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）、衆議院議長、参議院議長

総務
常任委員会

付託案件 9件

議案第64号

問 公文書の取り扱いで条例を作る背景はありますか。

答 公文書は基本的に、全ての文書となります。文書の種類によって保存年限を定めております。

議案第66号

問 説明によりますと条項ずれ、要は番号だけが1個ずつ何処かが増えたのか。

答 マイナカードに係る法律改正によりマイナカードをかざし暗証番号を入れて手続きをする制度を、マイナカードの中の情報をスマホの中に入れることでカードがなくてもス

マホだけで手続きができる改正が大きな要因です。

賛成多数で可決

議案第67号

問 設置条例の位置付けと支払い対象を明確化する。

答 地方公共団体が、各種審議会や委員会等の付属機関を設置する場合は条例によることです。

全員賛成で可決

議案第68号

問 柔軟な納付方法の設定の意味は。

答 柔軟な納付方法という記載の目的は、特定の物たとえば太陽光パネル・携帯電話会社の基地局など複数年、行政財産として事務の簡素化により利便性を向上させ、複数年取れるものを決め、それにより徴収を年度ごとに行うことができるよう改正するものです。

全員賛成で可決

議案第75号

問 2つの施設を一緒に指定管理にしなければならぬのか。

答 2つの施設を指定管理一本で出しております。2つの施設の設置目的がほぼ同じような設置目的になっており直線距離にして250メートルの距離、同じエリアにあり、まとめて1つの小さい施設でも運営管理者を置きますと、それぞれ人件費がかかり、コストを抑えるため一緒に出している次第です。

全員賛成で可決

議案第76号

問 今回譲渡をし、何年か先に譲渡目的を果たしたのち、更地にして返すのか、そのままか。

答 使わなくなれば、建物はずぶして、更地で返していただきます。

全員賛成で可決

議案第77号

問 墓地になっているが、今も墓地として利

用されているのか。

〔答〕 現在も夏見区の墓地として利用されています。

全員賛成で可決

議案第80号

〔問〕 組合議会のことを市議会で審議するのか、その根拠は。

〔答〕 地方自治法の規定により広域行政組合を構成する団体がそれぞれ議決しなければならぬ要綱があり議決をお願いしております。

全員賛成で可決

議案第81号

〔問〕 過去に、湖南市甲西町や県内で改定しなかったことがあるか。

〔答〕 人事院勧告に基づいていない市町は、最近ではございません。過去にと言われますと実際に過去にも、人事院勧告通り、ほぼ給料は改定されていると認識しています。

全員賛成で可決

福祉教育 常任委員会

付託案件 1件

議案第61号

〔問〕 少子化等含め10年先の見通しを持っていくのか、地域クラブに移行することで部活動の教育的意義が損なわれないのか・個人費用が増えないのか。

〔答〕 地域展開がどれだけ進むかは予測しがたいところですが、できる活動から取り組み、学校と共存というよりも地域の文化スポーツクラブに移行していく方向性です。教育的意義や指導者の資格・処遇を含む費用面についても協議会の中で検討していきます。

〔問〕 推進協議会委員の構成について。

〔答〕 学校関係者のみな

らず有識者、地域文化スポーツ活動に携わる方々を選出する予定で

全員賛成で可決

産業経済 常任委員会

付託案件 3件

議案第69号

〔問〕 湖南省火葬場条例の一部を改正する条例の制定について

〔問〕 先般の火葬場に係る不祥事とは関係がない条例改正か。

〔答〕 関係ありません。

〔問〕 霊安室の利用が数日にわたり、支障が出る事案があったのか。

〔答〕 現状、そのような状態にはありません。指定管理先から指摘を受け調査したところ、ほとんどの自治体が時間単位で利用料金を設定していたため、今後

を見据えて改正します。

〔問〕 身寄りのない遺体の対応は。

〔答〕 すぐに火葬できない遺体は、数日間、霊安室で預かることができ、過去に同様の対応をした事案があります。

〔問〕 市道路線の認定について

議案第78号

〔問〕 市道路線の変更について

議案第79号

〔問〕 当該道路は県の河川管理用堤防道路ではあったものの、従前より生活道路として使用してきた経緯がある。生活道路として利用されるようになり、このたび甲賀土木事務所によって「一般車両の通行はご遠慮ください」という看板が設置されるに至るまでの経過は。

〔答〕 調べたうえで報告します。

〔問〕 市道認定後、当該

看板は撤去されるのか。

〔答〕 甲賀土木事務所によって看板は撤去されます。

〔問〕 今後は事前に市へ連絡をするよう求めるべきでは。

〔答〕 申し入れます。

全員賛成で可決

予算 常任委員会

付託案件 10件

議案第70号

主な質疑

〔問〕 人事異動等による減額調整及び育休等による人件費減額理由は。

〔答〕 現在、正職で育休取得者が27名あり、復帰期日未確定や人事異動等により昨年の年度末の退職者が多くあったための減額です。

〔問〕 庁舎整備計画検討委員の報酬及び、費用弁償について

〔答〕 委員会を1回分追加で開催するため、委員6名の報酬と委員A氏が彦根市から、委員B氏が大津市から参加のため、往復の交通費を計上しています。

〔問〕 私有財産維持管理経費について

〔答〕 地元区要望により夏見地先の墓地を民間に売却するため、旧慣使用権の補償料を計上。

〔問〕 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金の交付事業者と内容。

〔答〕 「グループホーム三雲」で避難経路増設の耐震工事と「老人ホームみやのもり」で非常用発電システムの導入工事です。

〔問〕 市内医療機関への患者送迎、この補助金の内容と医療機関とは。

〔答〕 物価高騰対策支援として車両1台につき2万円を支給。生田病院と駅前診療所です。

〔問〕 家庭児童相談シス

湖南市議会だより

テムについて、各子ども家庭総合センターへの導入対応経費が不要となったことについて。

答 新たにシステム導入に費用が掛かると予算計上していたが、アカウントの使用料だけで導入できたため、減額補正をしました。

問 急傾斜地の法面崩壊対策についての国・県との検討結果について。

答 柑子袋城山地先の土砂災害特別警戒区域にある民地で、受益地の戸数が10戸以上あれば、滋賀県が災害対策を実施することとなっていますが、今回の場合、戸数が足りず、本市が事業主体で対応しました。

問 また、その緊急自然災害防止対策事業費の事業の充当率と交付税措置について。

答 事業債の充当率は100%で、元利償還金に対する交付税措置率は70%です。

問 宝くじ助成金で3団体が採択されなかった理由は。

答 採択されなかったのではなく、国・県での枠が決まっております。湖南市からは2団体のみでありました。

問 笹ヶ谷霊園管理基金積立の現在の基金残高と繰り出しの最近の状況について。

答 令和6年3月末現在で基金残高は、9600万1864円で、令和6年度当初予算の基金からの繰り入れは、361万4000円を見ています。

全員賛成で可決
議案第71号

全員賛成で可決
議案第72号

問 消費税申告漏れの件で、税務署側との協議について。

答 法的な範囲で過去5年にさかのぼりますので平成元年からです。令和5年度分は、納入期限が9月30日で

280万8200円を納入済み。滞納分は、専決で1、566万3、200円を納付し、その結果を受けて税務署から、1月末までの支払いで延滞税と無申告加算税の請求が届きます。

全員賛成で可決
議案第73号

議案第74号

全員賛成で可決

議案第82号

問 湖南中央消防署建替事業について用地取得費用が計上されているがこれで決定か。

答 用地取得費用は、7161万円を計上しており、補償算定業務委託の344万3000円については、その土地に農機具倉庫と看板が5枚あり、これの移転に伴う補償費です。

議案第83号

議案第84号

議案第85号

議案第86号

全員賛成で可決

代表質問



松浦市長の所信表明を問う！



会派 きずな ● 森 すなお 議員

みーぼ号

問 まちづくり協議会で取り組まれている好事例と、それを押し上げ、広める対策とは。

答 水戸学区まちづくり協議会がささえあい推進事業として、地域の高齢者の移動手段として運用されている「みーぼ号」の取り組みがあります。

地域代表者会議等での情報交換、相談や支援に取り組みます。

問 事業を推進、拡大するためには専門部署を設置し、専従の職員を配置して対応する必要があるのでは。

答 重要かつ意義のある提案です。公共交通専門課の検討をします。

小規模多機能自治センターの業務

問 当該センターの共通する基本となる機能、つまり、市民が求める業務は。

答 オンライン窓口の開設を予定しています。

公共施設

問 公共施設の最適化に向けた今後のあり方を検討するための基礎資料として、平成27年に策定した湖南市公共施設白書で示されている、「将来人口」、「財政状況」、「地方債現在高」、「基金現在高」と令和5年度実績を比較した場合の見解は。

答 将来人口の減少傾向は緩やかだが、今後は確実に進むと予測しています。財政に関する各指標は改善していると判断しています。

問 庁舎等公共施設のあり方の見解は。

答 庁舎整備は対応できる状況ですが、1年あたりの将来費用は、計画当時よりも約11億円増になるため、さらに削減を進めなければなりません。

代表質問



3つのビジョンと国政等への態度を問う



日本共産党湖南省議員団 ● 松井 けい子 議員

若者が選挙に関心を持つ、しかけについて

答 ユーチューブ動画配信、選挙事務所は、誰でも気軽に立ち寄れ、子連れも大丈夫など、多世代が交流できる居場所となりました。

問 危険な老朽原発の再稼働などに関して、県や国への働きかけは。

答 働きかけは行っていますが、安全が十分に担保された状態で稼働されることが望ましいと考えています。

子育てを楽しめるまち

問 甲西図書館のリニューアルの具体化は。

答 『学びの場とつながる場』への拡充。来年度、授乳室設置、利用者のニーズ、新たな利用者拡大に向け、施設充実を検討します。

全天候型の遊び場

問 石部文化ホールロビーの活用は。

答 既存施設の活用や建替え整備など手法を

検討しています。

問 食育は、子育てにおいて重要。公立園の3歳以上の給食を自園調理に変更すべきでは。

答 調理員の増員や大型調理器具などの備品整備の多大な財源確保が必要のため、引き続き学校給食センターを活用します。

問 点検・メンテナンスを学校の長期休みに行っているとのこと、公立園児の給食提供は。

答 お弁当を外部発注しています。

市職員が機動力・根拠・心をもって働くまち

問 頻発する事務処理ミスは、職員不足が原因ではないのか。

答 ミスは、例年10件程度、今年度は11月末で20件。職員体制の強化は重要です。10月採用と年度途中の人事異動を行い、適切な人員配置を進めます。

所信表明3つのビジョン12のゴールを問う！



湖南省公明党議員団 ● 細川 ゆかり 議員

所信表明について

問 延長保育や病児保育の充実について。

答 勤務時間や働く場所等による延長保育時間のニーズ把握を行い、時間設定の検証を行います。病児保育については、県内何処でも同じ条件や料金でサービスが受けられるように滋賀県の主体的事業として実施されるよう県に働きかけて参ります。

問 3つのJR駅と市内観光地を線で結ぶ取り組みの推進は。

答 二次元コードを読み取る手法を活用し、線として市内を周遊するモデルコースを作るなど、湖南省観光協会とも連携して参ります。

問 湖南中央消防署の移転について。

答 甲賀広域行政組合が主体となって推進。火災・救急出動時の現消防庁舎と石部分署の

管轄エリアの偏り解消、大規模災害発生時に野洲川に架かる橋の落橋による市の南北分断の危険性等から総合的に検討し、岩根地先を選定し進めています。

問 市民人材登録制度とは。

答 広く人材の活用を図りながら、市民の主体的なまちづくり活動を支援し、行政と市民との協働によるまちづくりを推進するための制度です。

問 市役所がどこよりも市の魅力発信基地となっていくべきでは。

答 市役所は単なる行政手続きの場にとどまらず、魅力発信基地としてもその役割を果たすべきと認識しており、市役所職員は「おもてなしの心」を大切に市民の皆さまを温かく迎え入れる雰囲気を持つことが重要です。

一般質問



美しい湖南市 きれいな町づくりについて



無会派 ● 小林 義典 議員

問 インフラ整備・今後の計画は。

答 国の交付金を活用しながら計画的に、舗装修繕をしています。特に旧東海道石部地域においては、来年度から二か年の計画で、東は県道長寿寺本道線交差点から、西は県道石部草津線交差点まで900メートルの区間を行います。

問 雑草除去について。

答 国道は年一回・県道は年二回各行政庁において、除草を行っています。市道に関しては、道路延長が膨大なため各自治会やシルバー人材センターに委託している状態ですが、皆様よりの情報を頂けましたら清掃などの対応をします。河川愛護活動での草刈りは、6月から11月の間です。

ています。

公共交通について

問 地方公共交通の在り方について。

答 湖南市公共交通計画では、必要とされる方を対象に、移動手段の確保と市民生活の向上を目的としています。

問 補助金は現状において妥当か。

答 令和五年度の実績は7391万4千円を補助金として支出しており妥当であると考えています。

問 夏休み小学生以下バス乗車体験事業の結果および成果について。

答 期間中は、延べ747人の利用があり、何より、子どもたちの気づきや行動変容など、効果の高い事業であると捉えて、継続性を検討しています。



活きた声を大切に 「使われ活きる公園」へ



湖南市公明党議員団 ● 副田 悦子 議員

市内の公園について

問 今後の公園計画について。

答 公園管理について、厳しい財政や公園利用者の減少、草刈りなどの維持管理を行う地域住民の高齢化等による担い手不足に直面しています。公園の現況調査や市民アンケートを実施し本年9月「使われ活きる公園」をコンセプトに「湖南市公園等ストック再編基本計画」を策定しました。

と、周辺の公共施設との連携が可能であることの要件を満たす都市公園の中から五つを拠点となる公園として検討しています。

問 「上街道公園」については来年度より複合施設の更新を含めた再整備に着手します。

問 こどもや高齢者の利用を考えたトイレの洋式化の整備について。

答 拠点公園のひとつである「十禅寺緑地」をはじめ、各公園の再整備の際にはトイレの洋式化に順次取り組みたいと考えています。

ギガスクールについて

問 令和7年度の端末更新について。

答 県の共同調達に合わせ進めています。特に売却の際に個人情報流出されないよう適正な処置について検討しています。

一般質問



コミュニティバスの運行について



会派 きずな ● 永田 誠治 議員

問 普通免許で運転できる小型バスの導入について。

答 バス運転手は大型自動車二種免許の取得が必須ですが、乗車定員10人以下で旅客運送を行う場合、普通二種免許で運転できます。小型バスの導入により、運転手の確保という点では一策と考えられますが、タクシードライバーの確保も難しい状況と聞いております。

問 帰りバスの増便について。

答 地域交通を担うコミュニティバスとして、利用者や地域の声を把握した上で、ニーズに合った路線体系が推奨されるべきですが、慢性的なバス運転手の不足に加え、働き方改革関連法による、乗務員の労働時間の規制強化等の影響から難しい状況であるため、現行の路線維持を最優先として改善を進めて参りたいと考えているところです。

問 最終便をずらせることについて。

答 コミバスの運行体系は、1台のバスが、複数の路線を補完することでバスや運転手の効率性に重視した路線網としております。現在、9台の車両を平日9名、休日8名の運転手で何とか運行している状況であり、バスでの運行が難しい時間帯や一部路線においては、更にタクシー車両を活用して補完運行をすることで、市内の不便地域や交通空白地の解消維持も図っているところです。現状の運行体制で最終便の時刻を繰り下げることについては、他の路線への影響もあり、困難であると考えております。

市民の移動、利便性の確保は行政の責任で



日本共産党湖南市議員団 ● 立入 善治 議員

地域公共交通の在り方について

問 地域交通の役割は。

答 市民の交通ニーズを把握し公共交通を限られた財源を活用し提供することです。

問 「めぐるくん」の来年度の路線改定で廃止された路線の復活は。

答 令和7年2月を目標に路線変更や時刻改定案を取りまとめ、改善策を進めています。

問 すべての移動手段を確保するための協議機関の設置は。

答 移動支援サービスや支えあい活動などは担当課が異なるが、共有を深めたいです。

豪雨災害による水害予防について

問 吉永の市道大溝線の地先の排水対策は。

答 大砂川上流からの伏流水と雨水が合流、市道の側溝整備を検討

します。

問 石部岡出の調整池に雨水が溜まらない対策は。

答 今年度調整池の劣化度等調査する業務委託を発注しています。

問 石部中央の住宅開発が下流域に及ぼす影響は。

答 区域内に調整池を設置、越流しない計画です。

問 落合川の改修について。

答 旧東海道から野洲川までの区間、本年度より事業着手されています。

障がい者移動支援等事業での助成金について

問 事業の助成金が十数年間見直されていないのはなぜか。

答 最低賃金や介護給付金の改定があり、関係機関と協議し令和8年実施で進めます。

一般質問



湖南市の図書館と 孤独・孤立対策の進捗状況



無会派 ● 赤祖父 裕美 議員

湖南市の図書館

問 図書館の考え方。

答 人類の過去と現在を結ぶ知の宝庫であり知る権利を保障する社会教育施設。人と本との出会いの場であり、人と人が繋がる地域住民の協働の場です。

問 図書館機能と図書館の違いは。

答 図書館機能は、図書館職員が図書館法に基づいて提供するサービスです。

問 石部小規模多機能自治センターに「甲西図書館の分館」という形で図書スペースを設置することは可能か。

答 図書館の機能やサービスについて、どのように展開していくのか、今後、市民の皆様と対話しながら進めていきます。

問 図書館協議会とは図書館法第14条、サービスが受けられなくな

ることについても協議

し、図書館の奉仕について館長に意見を述べる機関ではないのか。

答 引き続き必要な事項について様々なご意見をいただきます。

問 市民へのわかりやすい周知の必要性は。

答 周知方法の工夫を図っていきます。

問 文化総合センターが新しい施設に生まれ変わるまで、市民協働での運用は可能か。

答 可能な範囲でご利用いただければと考えています。

孤独・孤立対策

問 国の法律に則った湖南市の官民プラットフォームの進捗状況について。

答 孤独・孤立の視点では十分ではない。他の自治体の取り組みを参考にし、市に合う取り組みを検討していきます。



選挙の振り返り・図書館・ 企業誘致について



無会派 ● 澤田 厚 議員

商業施設投票所の必要性について

問 県内で広がりつつある商業施設への投票所設置ですが、イオンタウン湖南での設置を断念している理由は。

答 今回、イオンタウン湖南様と協議し、総務省が示す設置基準に満たないことから見送りましたが、商業施設への投票所設置は投票率の向上に資すると認識しており、その周辺施設も含め継続検討いたします。

図書館リニューアルにかかる予算と資金調達について

問 リニューアルにかかる予算の見通しは。

答 令和7年度に計上し、その後にリニューアルにかかる工事費等を計上する予定です。「子ども子育て施策推進交付金」や「図書館の

充実を目的としたふるさと納税」の活用を考えています。

企業誘致の方針とターゲット産業について

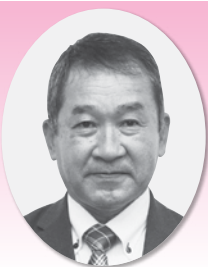
問 企業誘致における湖南市の特性を生かしたターゲット産業は。

答 地域活性化の流れを生み出す業種、環境にも配慮した持続可能な社会となるような事業所、地の利を生かした流通拠点施設や研究機関が併設されたマザーファクトリーなどの誘致を考えています。その為に、国道1号線の4車線化が喫緊の課題と捉えて現在取り組んでいます。

【資料】「ふるさと納税湖南づくり寄付条例」によりいただいた寄付金は、基金に積み立て、令和6年度に以下の事業に使用させていただきます。

事業名	寄付金
天然記念物ワックスマツの保全に関する事業	11,818,000円
図書館の機能充実に関する事業	11,414,000円
観光の振興に関する事業	12,499,000円
歴史文化遺産の周辺環境整備に関する事業	13,065,000円
スポーツ施設利用促進の充実に関する事業	10,582,000円
地域福祉施策に充実に係る事業	24,105,000円
その他地域活性化に関する事業	167,526,000円

一般質問



通過車両の生活道路への 流入対策について



会派 きずな ● 奥村 幹郎 議員

国道1号バイパスについて(4車線化)

問 市の単独要望をはじめ、関係市で構成する各期成同盟会を通じて、この8月に滋賀県・県警本部・近畿地方整備局・国交省や財務省に対して要望活動を行い、様々な角度からその必要性を訴えてきたところですが、令和7年秋に開通予定の先線である山手幹線(栗東・草津)からの交通量が更に増えることが想定される中で、現在においても工事着手の時期について、明確に示されておりませんが、引き続き強く要望していききたいです。

県道4号交差点について(三雲西交差点)

答 三雲西交差点の改良事業につきましては、現在甲賀土木事務所において用地測量関係の委託業務を発注されて

おり、右折レーンの滞留長を精査しているとの報告を受けています。

交通規制について

答 朝夕の慢性的な渋滞に伴う生活道路(旧東海道)への車両流入を食い止めるため規制がなされておりますが、通り抜け車両が後を絶たない状況にあります。旧東海道の市道大溝線交差点につきましては、交差点明示と見通しの確保が必要であることから、本市で強調表示を実施し注意喚起を行ったところであります。また市・警察・地元ほか関係機関と現地確認を行い協議の結果4方向一旦停止の交通規制の決定が下され、現在は、甲賀警察署による路面への「止まれ」表示と「止まれ」標識設置を残すのみとなっております。



自然災害について



会派 きずな ● 望月 卓 議員

想定浸水深表示数字の減少対策について

答 雨量の増加により、河川から水が溢れたり、堤防決壊して、側溝排水が機能以上に溢れ出たりして、その地点にどれだけ水が溜まるかの指標です。減少方法は、現地での土地の嵩上げか、浚渫工事による川底を下げる工事等があります。現在、野洲川を管理する県では、防災・減災、国土強靱化5カ年加速化計画によって、土手の強靱化等、100年確率に向けての整備予定を進めています。

河川管理区域内の倒木被害リスクについて

答 多くの樹木は、植樹後、数十年経過し、「老木」となります。これら樹木の管理者は植樹した人、団体ですが、

河川管理者が植樹した樹木は殆どなく、樹木の管理者の特定は、困難な作業です。

現在、地域の皆様や近隣住民皆様の協力により、維持管理がされている状況で、地域の皆様からの情報提供を頂きながら対応・処理を実施しているところです。

地震被害想定の見直しについて

答 今後は、被災地への支援についても個々の災害対応業務だけでなく、災害対応の方針決定や他の自治体、関係機関との連絡調整を行う災害対策本部運営等の分野につきましても積極的に職員を派遣することで、指揮命令・対応判断等のノウハウを蓄積してまいりたいと考えております。

一般質問



まちづくりSDGs・ 土地利用推進計画は！！



会派 きずな ● 堀田 繁樹 議員

問 まちづくりにおける将来人口と人口減少対策について。

答 2020年実施の国勢調査は54,460人で人口ビジョン推計値を若干下回る数値結果です。人口減少対策として産業振興や子育て支援、女性活躍、移住定住促進など出生数の維持や転入促進のため様々な施策を展開していきます。

問 SDGs未来都市の取り組みについて。

答 令和2年に選定され「こなんウルトラパワー圏」を核として地域にある自然エネルギーを活用することで持続可能な社会実現を目指します。これまで、公共施設の省エネ調査や省エネサービス事業として設備更新や太陽光発電事業を実施しています。教育推進事業として市内高等学校と

連携して生徒・職員対象のSDGs教育を実施、小中学校にも学習の時間を設けています。

問 国土利用計画での土地利用方針と今後の課題について。

答 当初策定した計画は平成27年に終了し、その後は市総合計画において土地利用構想を示しています。

問 都市計画マスタープランの見直しについて。

答 都市計画見直しについては現在、来年度にかけて県で基礎調査実施中です。市では、関係計画と併せ来年度から区域区分の見直し（市街化見直し）に着手いたします。市の立地適正化計画により居住誘導や都市機能誘導区域を定め、賑わいづくりと持続可能な稼げるまち実現のため、取り組んで参ります。



カーブミラー、 ギガスクール構想について



日本共産党湖南市議員団 ● 川波 忠臣 議員

カーブミラーについて

問 維持管理方法。

答 区長等から要望を受け、職員が現地調査を行った上で、優先度の高いところから対応を行っています。

問 市内のカーブミラーの数について。

答 1349基です。

問 カーブミラーの耐用年数について。

答 30年想定です。

問 手入れの必要なカーブミラーの数は。

答 令和5年度は53基です。

問 カーブミラーの維持管理予算について。

答 令和6年度は280万円です。

問 予算は十分か？

答 積極的な確保に努めます。

問 地域でできるカーブミラーの手入れについて。

答 手入れは行わず、市にご連絡ください。

GIGAスクール構想について

問 子どもや先生方の受け止め。

答 生徒からは肯定的な回答が8割以上で、先生方の業務改善にもつながっています。

問 成果と課題は。

答 学習に広がりが増えました。タブレット活用の研究と、機器や通信の不具合への対応が課題です。

問 環境の整備状況は。

答 適切なネットワーク整備が必要です。

問 環境の改善策について。

答 まずは原因の分析を行います。

問 サポート体制は。

答 授業支援ソフト以外へも対応できる支援体制が必要です。

問 専門人材の育成は。

答 人的資源の確保は課題と認識しており、検討します。

一般質問



市民・行政・事業所… 協働のまちづくり



会派 きずな ● 中土 翔太 議員

工場をまちにひらくことによる効果について

問 本市の産業ツーリズムの現状は。

答 具体的な取り組みはできていません。

用語解説

産業ツーリズム

ものづくりの現場、最先端の技術を備えた工場などを対象とした学びや体験を伴う観光のこと。子どもの学習の場としても魅力がある。湖南省産業振興ビジョンには、「みらい公園湖南」を拠点とした重点プロジェクトのひとつとして記載されている。

地域一体型オープンファクトリー

ものづくりに関わる中小企業など、一定の産業集積がみられる地域を中心に、企業単独ではなく、地域内の企業等が面として集まり、地域を一体的に見せていく取り組み。

湖南省産業振興ビジョンおよび近畿経済産業局HPを参考に作成

問 学校は校外学習や職場体験において、市工業会や湖南工業団地協会と連携すべきでは。

答 連携を進めます。

問 地域一体型オープンファクトリーに対する見解は。

答 本市は高いポテンシャルがあり、シビックプライド醸成や従業員のモチベーション向

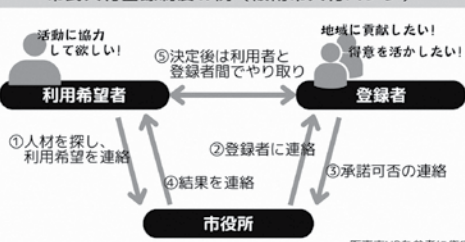
上に繋がると考えます。

多様な人が参画できる協働のまちについて

問 市民活動や協働の推進によるまちづくりの今後の取り組みは。

答 ニーズや活動の把握・協議を経て次年度中に構築します。

市民人材登録制度の例（阪南市人材バンク）



阪南市HPを参考に作成

問 協働についての市長の想いや考えは。

答 市民人財登録制度の構築等により、市民

全員と協働で取り組むまちづくりを進めます。

問 協働を推進するための課や室の設置は。

答 検討します。



持続可能な消防団組織・活動について



無会派 ● 曽我部 一帆 議員

問 訓練、行事、大会の現状と今後について。

答 現在、年3回の分団別訓練、年1回の全団訓練により基本的な活動要領・技術の向上と各班の連携に取り組んでいた。また、各班で定期的に実施されている車両・ポンプ点検により車両・資機材等の取扱いを演練いただいております。これらの活動につきましては、住民の財産と生命を守るという消防団の本来の活動趣旨であるため、必要不可欠であると認識しておりますが、消防団員の負担軽減は取り組むべき課題であると認識しております。行事、式典等の簡素化、消防操法訓練大会出場時の取り組み方の見直し等につきましても協議を図ってまいります。

問 必要団員数とその確保について。

答 団員の定数300人に対し、令和6年4月1日現在281人の団員に活動いただいております。充足率は高い水準となっており、但し、団員の在職年数の長期化・高齢化が進み地縁を通じた勧誘に頼らざるを得ない状況等の課題もあります。募集広報の充実や処遇改善をさらに推進するとともに、女性団員が活動しやすい環境づくり、消防団応援の店の周知に加え、団員の負担軽減などにつきまして、今後も引き続き検討してまいります。

問 団員のニーズや不満の把握について。

答 団員が相談しやすい事務局の体制整備について周知するとともに、必要に応じアンケートを実施するなど、風通しのよい組織の実現に向け、今後も引き続き努めてまいります。

一般質問



今後の市政運営について問う



無会派 ● 加藤 貞一郎 議員

問 東庁舎整備事業については、既に過去から8回のタウンミーティング、3回の市民ワークショップまたアンケート調査等を実施した結果、多数の市民の方は、庁舎整備の必要性和その整備方針については、理解を示されていると考えることから、もはや市民に「意見を聞く」のではなく市が提案したい内容を市民に提示すべき段階だと考えるが、市長の考えをお尋ねします。

答 市としては、若い世代との懇談会と庁舎整備検討特別委員会からの答申を踏まえた上で庁舎整備計画案を3月議会にお諮りします。

問 石部文化総合センターの今後の取り組みについてお尋ねします。

答 石部文化総合センターについては、西庁

舎周辺整備の中で、市民活動複合施設の一部として、地域にとつて親しみのある施設を創り上げていくため、もう一度市民の皆さんとの意見交換の場が必要であると考えています。時間は、たっぷりあります。

問 小規模多機能自治構想の推進は、自治体組織や行政組織という大きな範疇の中で、市民の心を動かす最も難しい施策のひとつであり時間の要する行政改革であるとの認識から市民の理解を得るための取り組みについてお尋ねします。

答 市民に施策の理解を求めるため、様々な媒体を活用し啓発していくと共に市民との対話を重ねながら丁寧な説明をしていきます。



水道の耐震化について



無会派 ● 松原 栄樹 議員

問 能登地震の長期に渡る水道断水を受けて、国は全国で避難施設等重要施設への、上・下水道の耐震化率の状況を公表しました。このことについて。

答 国の公表は、上・下水道管の耐震化です。県下では湖南市を含めて16市町が0%です。本市の上水道の耐震化率は28.4%であり、上水道は老朽管路の更新と耐震化に向けて「施設更新計画」、下水道は「下水道管路施設総合地震対策計画」により漸次進めていきます。

問 水道管の耐震化は事業費が多大です。今回、国は補助金の見直し拡充をするようですが。

答 いつどこで起きるかも分からない自然災害に備えて、避難所・拠点病院等への水道耐震化は喫緊の事業です。

国の動向を注視しながら対応していきます。

甲西中学校・夜間学級について

問 4月、開設予定の滋賀県唯一の甲西中学校夜間学級について、応募状況は。

答 県内在住、もしくは湖南市在勤で学び直しを必要とされている方に、広く周知を行ってきました。10月の説明会に17名の応募があります。12月の説明会にも12名の申し込みがあります。

問 受け入れ体制と、問題点について。

答 教職員は県教委人事ですが、年齢・国籍・その他の事情にかかわらずなく教育を受ける機会の確保と、豊かな人生につながる教育水準の維持向上のための人事を要望しています。他、通訳者等の件もあり県教委と連携します。

議 会 日 誌

- 【10月】** 1日—議会広報委員会
 3日—議会運営委員会
 8日—議会広報委員会
 決算常任委員会
 15日—産業経済常任委員会
 16日—決算常任委員会
 30日—甲賀広域行政組合
 全員協議会
- 【11月】** 1日—会派代表者会議
 6日—議員全員協議会
 15日—福祉教育常任委員会
 議員全員協議会(瑞浪市・湖
 南市議会議員交歓研修会
 18日—議会改革推進特別委員会
 28日—議員全員協議会
 会派代表者会議
- 【12月】** 2日—議会運営委員会
 4日—本会議[12月定例会(1日目)]
 議員全員協議会
 11日—本会議[12月定例会(2日目)]
 12日—本会議[12月定例会(3日目)]
 議会運営委員会
 議員全員協議会
 13日—本会議[12月定例会(4日目)]
 16日—予算常任委員会
 総務常任委員会
 17日—福祉教育常任委員会
 産業経済常任委員会
 18日—議会改革推進特別委員会
 19日—庁舎整備検討特別委員会
 議会広報委員会
 24日—本会議[12月定例会(5日目)]
 議会運営委員会
 議員全員協議会



新議員

立入 善治
 小林 義典
 澤田 厚
 曽我部 帆

会派の異動について

令和6年11月1日付

◎会派構成員の増 日本共産党湖南市議員団 立入 善治

令和7年3月議会定例会の仮日程をお知らせします

開会 2月26日(水) **閉会** 3月24日(月)

<仮日程>

2月26日(水) ■本会議 提案説明

3月 5日(水) ■本会議 代表質問
 一般質問

3月 6日(木) ■本会議 一般質問

3月 7日(金) ■本会議 一般質問

3月10日(月)～

3月19日(水) ●委員会

3月24日(月) ■本会議
 委員長報告
 採決

◇傍聴席では…

議場は、市政全般にわたる重要な事項を決定する場です。係員(議会事務局職員)の指示に従って、静粛に傍聴することになっています。

◇傍聴の申し込みは…

会議が開かれる当日に来ていただき、「議会傍聴受付書」に住所・氏名を記入してください。座席数に限りがありますので、団体での傍聴は事前に議事課へご連絡ください。※事情により日程が変更になることがあります。詳しくは、1月末ごろに議事課☎0748-71-2347へお問い合わせください。

編集後記

定例議会の速報性を上げる等の思いで、本紙発行日を前月号より21日に変更させていただいております。

限られた紙面にも工夫を凝らし、手に取っていただき、少しでも読んでいただくことに重きを置いての編集作業をしています。

しかし急速に進む活字離れ現象に、広報委員会としても憂慮しており、如何に広報紙を多くの市民の皆様のお手元にお届けするか、少しでも読んでいただくかが課題となっており、その方策を模索しております。

広報委員長 奥村幹郎